



八雲町議会議長

能登谷 正人

令和3年の新春を迎え、八雲町議会を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。町民の皆さまには、ご壮健にて希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から町政の推進や議会活動に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新年を迎え、八雲町の更なる発展と皆さまが健康で穏やかな一年となりますことを切に願ったところであります。が、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発せられるなど、日常生活が大きく変化させられた一年でありました。

感染防止対策としてマスクの着用や手指の消毒のほか、社会的距離に注意し、接触や交流を控える生活を余儀なくされ、町内においても休業や学校の臨時休校、各種会議やイベントの開催が見送られるなど、生活スタイルや地域での生産・消費活動に大きな影

響を及ぼしました。地域経済への影響に對する支援策については、議会としても行政と情報共有を行い、消費拡大や町内事業者の事業継続に向けた支援など、必要な予算の確保に對して対応をさせていただきます。

感染拡大の影響は地方議会をも直撃いたしました。新聞報道などでは、感染防止対策としてやむを得ず一般質問の自粛を行った議会もありませんが、八雲町議会においても、令和2年3月定例会で一般質問を書面により実施するとともに、傍聴の制限を行うなどの特例措置を講じ、感染防止という観点で普段とは異なる緊張感のある議会運営となったところであります。

未だ感染が収まらない状況にあります。今までの日常から新しい日常へと思考や行動を改める必要があり、一人ひとりが気を緩めることなく、感染防止対策を徹底すること、が何よりも重要であると考えて、昨年を振り返ります。

いは、漁業振興のため新魚種の事業化の可能性を探るため、噴火湾と日本海でトラウトサーモンの幼魚を飼育する実証実験が東野・熊石両漁港で開始されておりましたが、6月に初水揚げされ、順調な成育が確認されたところであります。ブランド名を「北海道二海サーモン」と名付け、ふるさと納税の返礼品として活用されております。今後は更に実証実験を重ねることとして報告を受けておりますが、新たな漁業振興策として事業化に向け大きな期待をするものであります。

また、施設の老朽化が著しく、診療および療養環境への影響が懸念されている熊石国保病院の建て替えについては、地域・社会の変遷に對して可能な病院のあり方について慎重に議論を行ってまいりました。現在は改築に向けて基本設計の策定が進められており、町民の安心を医療面から支える地域密着型病院を目指し、建替事業基本計画に掲げる将来像の具現化のために引き続き努力を望むものであります。

本年は、議員の任期4年間の最終年であります。議会基本条例に掲げている目指すべき議会にどこまで近づくことができたのか。町民のニーズや地域の課題が多様化し、そして複雑化する中、絶えず時

代の変化を見極め、町民に最も近い存在である議会が皆様の声をしっかりと受け止める、町の発展と町民の福祉の向上のために議論を戦わせ、町民の代表機関としてその役割を果たして行かなければなりません。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により8月に予定していた議会報告会の開催をやむを得ず見送ることになってしまいましたが、現在は感染防止対策を徹底した中でどのような開催方法が適切なのかについて模索している状況であります。

引き続き効率的で「わかりやすい議会」の運営に努め、町民の意思を反映した「開かれた議会」を目指すとともに、独立した機関として行政と協力しつつも相互の抑制と均衡、緊張関係を保ちながら、持続可能で夢の持てるまちづくりを推進するため、不断の努力を重ねてまいります。

今後とも皆さまのご支援とご指導をお願い申し上げます。とともに、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、本年が穏やかな良い年になりますよう、皆さまのご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

〈広告〉

故人への想いを伝えるお手伝い

あおいセレモニー

24時間・365日対応

- ・家族葬(50名様までの密葬用ホールあります)
- ・寺院・町内の会館を利用し、ご希望にあわせて様々な宗教形式、無宗教形式の葬儀に對応
- ・専門スタッフに全てお任せください

〒049-3102
北海道二海郡八雲町東町247-1
電話 0137-64-2855・FAX 0137-66-5015